

久しぶりの雪に大はしゃぎ！ムーミンハウスの屋根やベンチ、テーブル等や日陰に残っている雪を集めて「雪だるまを作ろう！」の子たち。冷たい手をお湯のバケツで温めたり、木の枝に積もった雪が日の光で溶けた「しずく」に光があたり、輝いて見えることに感動したりと、ささやかな季節ならではの出来事に感動する子たちです。

### 【木育あそびを楽しみました！】

本日、「平成25年度木育推進事業」「一般社団法人埼玉県木材協会」の職員の方々にお出でいただき、「木の良さ」や「森林の大切さ」等を子ども達に伝える活動の一環として木に関する紙芝居や木のおもちゃで遊んだりする「木育活動」が行われました。

【ねらい】①木の良さを五感で体感する

②木のあそびの楽しさを知る

【プログラム】

一部「知る」 全園児が参加して合奏や紙芝居を見せていただきました。

二部「触れる」 コーナーが用意され、3歳児以上の子どもたちが太陽の部屋と造形コーナーで遊ぶものを選んであそびました。



・つくるコーナー（ペンダント作り）・造形のコーナーにてはのこぎりで木を切り、やすりで角を削り、ひもはつけてもらい、首にかけました。（作った子は持ち帰ります）

・太陽の部屋の舞台ではカンナで木を削る体験をしました。

・挑戦するコーナーではコマ、ケン玉、パズル、ふくわらいなど

・想像するコーナーでは積み木、ままごとなど

どのあそびも木を使っての体験でした。



三部「つながる」

各コース2～3チームとなり、竹の棒で、板をつまみ裏返すというリ

ーゲームで盛り上がりました。すべてのプログラムがいろいろな種類の木を使って考えられており、子どもたちも大人も楽しみながら、木の触れ合う機会となり、貴重な経験ができました。



### 当分「長ぐつ又はスノーブーツ」での登園をお願いします！

昨日の夕方から降り始めた雪があつという間に園庭に降り積もり、今朝は雪景色と同時に日陰の残雪が凍っていました。それでもこどもたちは大喜びで少しの雪でも大騒ぎで楽しみました。これからしばらくは園庭が凍ったり、溶けたりの繰り返しになります。運動靴ですとぬかるみで泥だらけになったり、くつしたまで濡れたりとなりますので、十分に外あそびが楽しめるように当分は「長ぐつ又はスノーブーツ」などでの登園をお願いいたします。

※NHK教育TV「お手て絵本」の放映が始まり、先日「こどものもり」で収録したものの内、今朝（2月5日）に出ていました。本夕方の再放映等以後も時々流れるようですのでご覧ください。